一定の投資性金融商品の販売に係る

# 重要情報シート（個別商品編）

投資信託

| 1.商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています） | |
|---|---|
| 金融商品の名称・種類 | ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし） |
| 組成会社（運用会社） | ピクテ・ジャパン株式会社 |
| 販売委託元 | ピクテ・ジャパン株式会社 |
| 金融商品の目的・機能 | ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。<br>①実質的に金に投資します<br>②原則として為替ヘッジを行いません<br>③年１回決算を行います |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | ・この商品は、中長期での資産形成を目的とした方で、主要投資対象や運用内容について十分な知識や経験があるか、もしくは説明を受けることにより理解いただける方を想定して商品を組成しております。<br>・この商品は、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方向けの商品です。 |
| パッケージ化の有無 | この金融商品はパッケージ化商品であり、複数のファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズです。投資先のファンドは個別に購入することはできません。 |
| クーリング・オフの有無 | 金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。 |

（質問例）

① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個別の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

| 2.リスクと運用実績（本商品は、円建の元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります） | |
|---|---|
| 損失が生じるリスクの内容 | ・価格変動リスク ・為替変動リスク |
| 〔参考〕<br>過去1年の収益率 | 31.7%（2026年7月末現在） |
| 〔参考〕<br>過去5年の収益率 | 平均27.8%　最低-5.2%（2021年8月）　最高90.0%（2026年1月）（2021年8月～2026年7月の各月末における直近1年間の数字） |

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」の項目に記載しています。

（質問例）

④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

| 3.費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します） | |
|---|---|
| 購入時に支払う費用（販売手数料など） | お申込金額（*）に応じて、下記の手数料率を約定金額（投資に回った元本金額（基準価額×申込口数））に乗じて得た金額がかかります。<br>お申込金額 / 手数料率<br>1,000万円未満 / 2.20%（税抜2.00%）<br>1,000万円以上1億円未満 / 1.65%（税抜1.50%）<br>1億円以上 / 1.10%（税抜1.00%）<br>＊ お申込金額：約定金額にお申込手数料およびお申込手数料にかかる消費税相当額を加算した金額<br>※ オンライントレードでご購入いただくと、上記お申込手数料より0.5%（課税前）割引いたします。<br>（投信るいとう自動積立取引による購入を除きます。）<br>※ オンライントレードの1回あたりの約定金額上限は3,000万円です。 |
| 継続的に支払う費用（信託報酬など） | 実質的に負担する運用管理費用は、最大年率0.789%(税抜0.74%)程度です。<br>（注）組入上場投資信託証券により変動する場合がありますが上記最大年率を超えないものとします。2026年7月末日現在の組入状況および投資先ファンドにおいて適用されている報酬率に基づいた試算値は、年率0.76%（税込）程度です。（この値はあくまでも目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入状況により変動します。）<br>信託事務に要する諸費用：信託財産の純資産総額の年率0.055%（税抜0.05%）相当を上限とした額が毎日計上されます。<br>その他の費用・手数料等：実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限額等を示すことができません。 |
| 運用成果に応じた費用（成功報酬など） | ありません。 |

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用」の項目に記載しています。

（質問例）
⑥ 私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦ 費用が安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。
⑧ 上記費用について、何の対価か説明してほしい。

| 4.換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります） |
|---|
| この商品の償還期限はありません。但し、一定の条件により繰上償還する場合があります。 |
| この商品をお客様が換金・解約する場合には、信託財産留保額はかかりません。 |
| ・信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。<br>・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付けを中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付けを取消すことがあります。 |

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「お申込みメモ」および「ファンドの費用」の項目に記載しています。

（質問例）
⑨ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

| 5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性 |
|---|
| 当社はお客様が支払う信託報酬のうち、組成会社等から販売会社分に相当する年率0.3%（税抜）の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。 |
| 当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。 |
| 当社の営業員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。 |

※ 利益相反管理方針の概要については、当社ホームページをご覧ください。
https://www.82sec.co.jp/info/images/conflict.pdf

（質問例）
⑩ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

| 6.租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象か否かもご確認ください） |
|---|
| 分配時：配当所得として課税（普通分配金に対して20.315%） |
| 換金（解約）時及び償還時：譲渡所得として課税（換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315% |
| NISA成長投資枠対象商品です。（当社ではiDeCoの取扱いはございません） |

※ 上記は個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。
※ 法人の場合は上記と異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「税金」の項目に記載しています。

| 7.その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください） | |
|---|---|
| 当社が作成した目論見書補完書面 | 【該当銘柄のURL】<br>https://www.82sec.co.jp/product/images/materials/pikute_2.pdf<br>※ PDF形式で掲載しています。<br>※ オンライントレードのお客さまはお取引の画面上でもご確認いただけます。 |
| 組成会社（運用会社）が作成した交付目論見書 | 【該当銘柄のURL】<br>https://ficom2.artis-asp.jp/a736563383/documents/42312199/kk<br>※ PDF形式で掲載しています。<br>※ オンライントレードのお客さまはお取引の画面上でもご確認いただけます。 |

※交付目論見書、目論見書補完書面、重要情報シートは、ご希望がございましたら紙でもお渡しします。

【お願い】 各項目の下部にある（質問例）のように、ご不明点や疑問点については担当の営業員にお尋ねください。

2026年10月16日

八十二証券